

2022年6月6日

株式会社イズミ
ヘルスケアテクノロジーズ株式会社

イズミグループ、健康経営の推進を目的に ヘルスケアアプリ「HELPO」を導入

～24時間365日対応の健康相談などが可能な「HELPO」を活用して、
従業員の病気の発症や重症化の防止を目指す～

株式会社イズミ（本社：広島市東区、代表取締役社長：山西 泰明、以下「イズミ」）は、健康経営の推進を目的に、ソフトバンク株式会社のグループ会社であるヘルスケアテクノロジーズ株式会社（本社：東京都港区、代表取締役社長 兼 CEO：大石 怜史、以下「ヘルスケアテクノロジーズ」）のヘルスケアアプリ「HELPO（ヘルポ）」を導入します。イズミおよびグループ会社の約16,000人の従業員が、2022年6月6日から「HELPO」を利用できるようになります。

「HELPO」は、オンライン健康医療相談や病院検索、一般用医薬品などの購入、オンライン診療の受診などをワンストップでできるヘルスケアアプリです。イズミグループの従業員は、「HELPO」を利用して、ヘルスケアテクノロジーズに所属する医師や看護師、薬剤師などの医療の専門家にチャット形式で24時間365日、気軽に健康に関する相談をすることができます。また、健康相談の結果を踏まえて、約5,000の医療機関の中から適切な医療機関のオンライン診療を受けることができる他、一般用医薬品や健康食品などを「HELPO モール」で購入して自宅で受け取ることなどが可能です。

イズミグループは、「従業員に寄り添い、健康づくりを支援し、働き甲斐のある職場を目指す」をテーマに、2022年度から本格的な健康経営^{*}の取り組みを開始しました。従業員の健康増進と働きたくなる魅力ある職場づくりを目的としており、病気の発症や重症化を防止するためのツールとして、いつでも気軽に健康に関する相談を医療の専門家にできる「HELPO」を導入することになりました。日々の健康管理などにおいて気になることがあればチャット形式で簡単に相談できるため、多忙を理由とした症状の放置や重症化の防止などの効果を期待することができます。また、かかりつけの病院が開いていない休日や深夜、体調に急な変化が発生した際にも気軽に利用することが可能です。万が一病気が発症した場合には、オンライン診療の受診なども可能なため、従業員の健康をワンストップで支援することができます。

イズミグループは今後もさまざまな施策を通して、健康経営に取り組みます。また、ヘルスケアテクノロジーズは、企業や自治体などへの「HELPO」の納入を通して、企業の従業員やその家族、各地域にお住まいの方の健康増進・管理に貢献することを目指します。

■「HELPO」の主な機能

健康医療相談	医師や看護師、薬剤師などの医療の専門家にチャット形式で24時間365日、気軽に健康に関する相談ができるオンライン健康医療相談サービス
病院検索	条件に合う病院や診療所を簡単に検索できるサービスで、診療科（内科、耳鼻咽喉科、皮膚科、整形外科、眼科、小児科など）によるフィルタリングや、夜間診療や女性医師の在籍などの豊富な条件設定が可能
HELPO モール	一般用医薬品や健康食品などを購入して自宅で受け取ることができるECモール
オンライン診療	全国約5,000の医療機関のオンライン診療を受けられるサービス

「HELPO」の詳細は、[こちら](#)をご覧ください。

※ 社員の健康管理を経営的な視点で考え、戦略的に実践すること

- SoftBank およびソフトバンクの名称、ロゴは、日本国およびその他の国におけるソフトバンクグループ株式会社の登録商標または商標です。
- その他、このプレスリリースに記載されている会社名および製品・サービス名は、各社の登録商標または商標です。